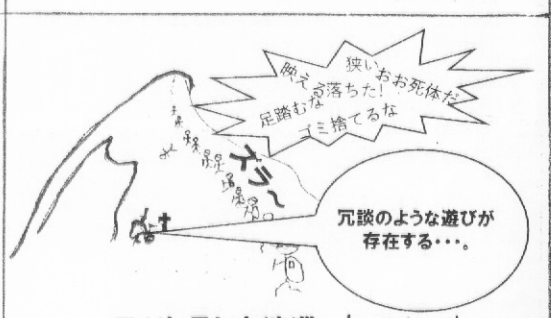
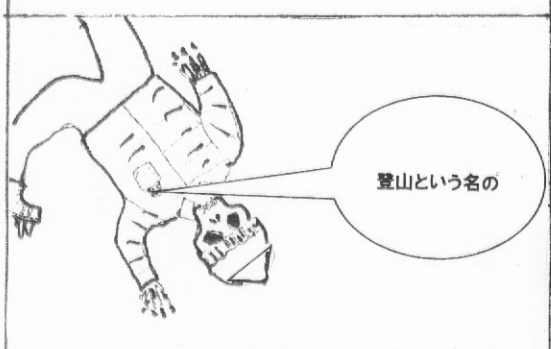
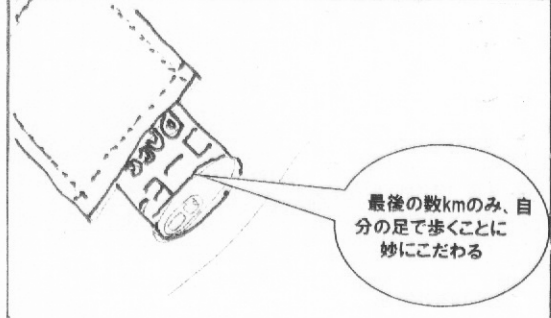


静岡市スーパードラム」集合塾報告

18X回数報告

時は元禄、いや令和、いや平成31年3月。今年度最後の(平成最後の)塾の日がやってまいりました。私は、集合日前日に軽トラに噂のバイクを積み、秘密の軽トラデポ地向かったのであります。その噂のバイクというのは、スズキの000(アルファベット)000(数字)。もう30年以上前に発売された一応オフロードバイクで、リア2本サス、6V、ポイント火花どししか申し上げられません。タンク、シート、フエンダーなどはDR125の物です。レストア軽量化及びシートやタンクのフイッティングに大変苦労した話は割愛し、集合地の静岡市内国道362号線沿いのスーパードラム」に向かう。

ただ向かうのも、もったいないので林道探索しながら時間調整。智者山林道はやっぱりまだ開通していません。一本杉峠林道から分岐して八重枯林道は、県道60号線直下の沢までは下れたが、その先に道が無いのを確認。スーパードラム」へ向かう。昨日まで、めっきり春めいていてたこの日に、冬のグロップを持ってこなかったのを悔やむくらい肌寒い日だ。スーパードラム」でガソリン補給しようとする、ピッカピカのXLX250のロッカー氏と、やつれたCRM80の赤貧氏に遭遇。バイク歴が無駄に長い赤貧氏が私の噂のバイクを見て「こんなバイク見たことない」とのこと。私も、手に入れる前までは実物を見たことがなかった。



エベレスト大渋滞 何だかア〜

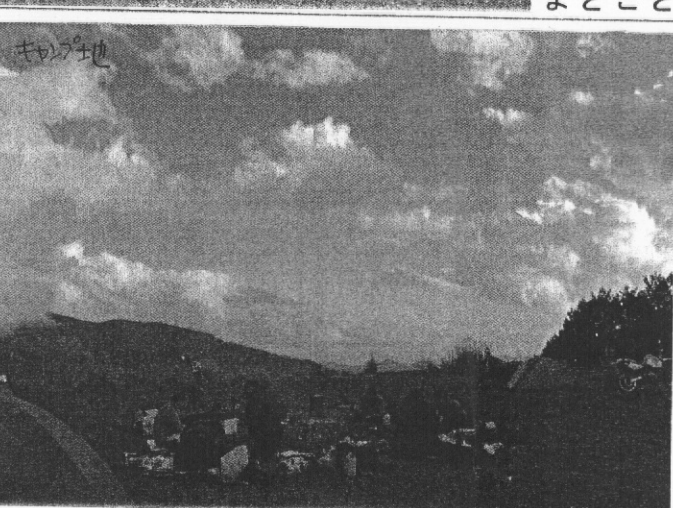


スーパードラム」前の歩道と車道の隙間の三角地帯にバイクを止める。すぐ横が駐在所という絶好の集合場所だ。XR400の涼風氏が到着。キック始動にもだいが慣れたようだが、歳のせいでもザックを忘れた(歳のせいでも移動はトラックだつたためらしい)荷物(の積み方がいつもと違う。続いて(順不同)WR250の地下鉄氏、自分で取り付けたリアの泥除けがないもイカして居る。DRなんちゃって250のゴ三浦氏、自走が大変に思える歳になってきたので、JA11に積めるバイクを物色中とか。XR650の三浦2号氏、今回はキックレバーがちゃんと付いている。KTM690エンデューロの秋山カバ氏、今回はどんな改造をしてきたのやら。レイド250のサンペイ氏、テネレで来て大丈夫な林道しかもう行きませんから。走行距離が7万キロ近いジェル250のO型氏、以上、私を含めて10名かと思いきや、見送り専門、お土産渡し専門のカンヅメ杉山氏がランクル77で登場。今回のお土産は何と釜揚げシラ

ス。ちよびつとで1000円は下らない季節限定の高級品、直販店には小容量のパック入りが無く、相当に後悔した模様だ。目の前のスーパードラム」で早々の買い出し。いつもながら、そんなに買っただけで、食料と酒でクソ重くなつたザックをヨッコラショと担ぎ、出発となるが、噂のバイクの御機嫌が斜め。重いキックの連発。フロートバルブが劣化しておりオーバーフロー気味、コックパッキンも怪しい。ようやく御機嫌がなおり、国道を山方面へ進み、県道60号線へ。日向という集落内の小向というバス停がある所から分岐する檜ノ木峠林道へ。狭い沢沿いに進み、杉ノ沢林道への分岐があるあたりから砂利の峠道になる。路面は荒れた所もなくフラットで快適。噂のバイク向きの路面。噂のバイクは、爆発的なパワーがあるわけでもないが、アクセルを開けた時のトルク感が気持ちいいんだよねえ。峠の手前にある大広場で休憩のためバイクを止める。しかし、峠への上り始めあたりからゴ三浦氏と赤貧氏が見えなくなつたとのこと。コケるような場所はないかと、パンクか?急に排便をもよ



おしたか?まあ、待てばそのうち来るだろう。来ない。最初に気付いたO型氏によれば、赤貧氏のCRMのエンジンがかからなくなつたらしい。ケータイも通じない。仕方ねえ、峠道の上り口の道路わきに2名を発見。CRMの荷物を降ろし、シートを外して配線をいじっている。ユニットラルでエンジンはかかるが、ローに入れるとエンジンが止まること。原因は、外したスタンドスロット。スタンドを立てたまま走っちゃいけないよスロットは、私も真っ先に取る余計なお世話装置。本体側のコネクタに針金なんか突っ込んで接続するのだが、それが外れたらしい。修理完了。峠手前の広場へ。残った全員、もう走る気なし、とのことで、本日はここを野宿地とする。最近、記憶というものと縁遠くなり、ほぼ急ぎにこの原稿を書くことになり、初めからわかっていればメモぐらいは取るのだが、酒が入ると益々記憶が飛ばし、ここからはほぼ憶測だ。



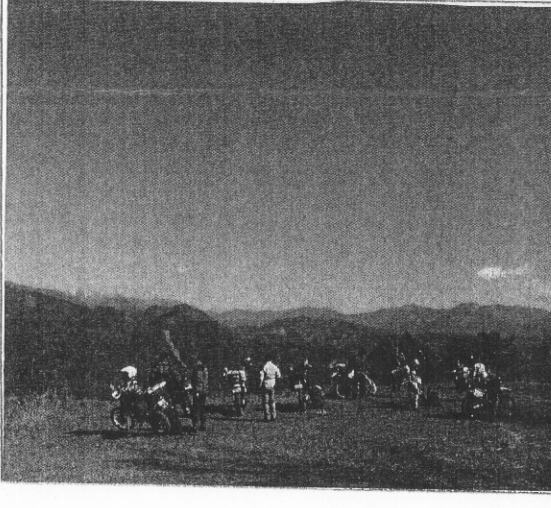
と、来た時は必ず足を延ばすのだが、確実に延長工事は行われていないもの、通り抜けられたためではない。今回もやっぱり道は通じていない。権七峠林道を下って県道27号線の口坂本に下って秘密の林道に行くと、先が途中で通行止め。日曜だから工事で行われていないと思うが、私たちが大人なので(老境入っている方も多いが)秘密の林道はあきらめ、笠張峠に通じているオオグナ林道へ。県道189号線から、県道60号線の静岡方面へ。快適なワイン

などを眺めて昨夜の阿鼻叫喚ぶりを想像するのも楽し。早く起きないと、ほんのり赤く染まってゆく東の空の美しさが見られませんかよ。というわけの快晴の朝。それぞれ朝飯、排便、撤収。ここで、村の寄り合いがあるロッカー氏と家の用事がある涼風氏が脱落。



杯。焚火を囲んで、各種つまみがグーグル。この際、右回りか左回りかはどうでもよい感じもするが、時計回りの右回りが正解。つまみが渋滞すると極悪人呼ばわりされるので注意。この際、誰が作った何が回ってきたのは知る由もない。とにかく、買った食材と酒を減らすことに全員必死だ。そして、寝ました。

次の日、最初に起きた者は、昨夜最初に寝た者、つまり私だ。起きてくる人の順番もほぼ寝た順番。焚火をおこしながら、転がった酒瓶やら灰にまみれたつまみや落ちていた箸



檜(だと思ふ)の太木が本道にあつた。クネクネの舗装路を井川方面に進む。笠張峠の手前から右に折れた。昔は鍋伏峠林道という看板があつたと思うが今はない。1kmほど行った所から左に下るルートが今回のコースだが、直進してちよつと寄り道。ガレた道を上り切った所が終点。富士山から南アルプスも見えらる大展望。日によっては強風にさらされることもあるが、野宿地です。いつか夕暮れ時に通りかかると、あればご自由にお使い下さい。戻って分岐道に下る。1.2kmほど下って左に折れるのが権七峠林道(このあたりの林道はどれも峠の名前がついているなあ)だが直進。いつかはどこかに抜けられるだろうと、来た時は必ず足を延ばすのだが、確実に延長工事は行われていないもの、通り抜けられたためではない。今回もやっぱり道は通じていない。権七峠林道を下って秘密の林道に行くと、先が途中で通行止め。日曜だから工事で行われていないと思うが、私たちが大人なので(老境入っている方も多いが)秘密の林道はあきらめ、笠張峠に通じているオオグナ林道へ。県道189号線から、県道60号線の静岡方面へ。快適なワイン

ディングを駆け抜け、切通しの峠から分岐する一本杉峠林道(またもや峠名の林道)へ。2kmほど先に右の分岐がある。直進方向が本道だが、廃道化。檜ノ木峠林道側からも同じ名前の林道が分岐しているが、そこから側は開設工事中だ。右分岐は諸子沢・峯林道で、またもや県道60号線に通じている。最初の下りが舗装されてしまっている。送電用の大鉄塔が並ぶ尾根に道は続いている。分岐道終点の広場で昼メシ。各自インスタントラーメンなど煮る。地下鉄氏が鉄塔のガイシを見て「その数で送電量が分かる」などという専門的なことを言う。さすが大手企業の電機部門課長補佐だけのことはある。それはさておき、道は諸子沢集落に下っている。急斜面に手入れされた茶畑と民家、その間に道はジグザグに下る。県道60号線に出た所で、明日から仕事の秋山カバ氏が脱落。我々は、県道を通り切り、国道362号線に向かつてウネウネと上ってゆく。国道から智者山林道を少し走ってまた国道へ。少しでも未舗装路を走ってみたい組長の優しさに他ならないルート選びではないか。国道を突っ切り、無双連山林道に突っ込む。しかし、本来は文沢林道の峠の十字路に出られるはずだが、舗装工事で行き止まり。我々は立派な大人なので引き返し。国道へ戻り買出し場所へと走る。残念ながら、この周辺にまともなスーパードラム」はない。中川根の道の駅近くにも「魚勇」はあるのだが、酒が売って